

Prologue

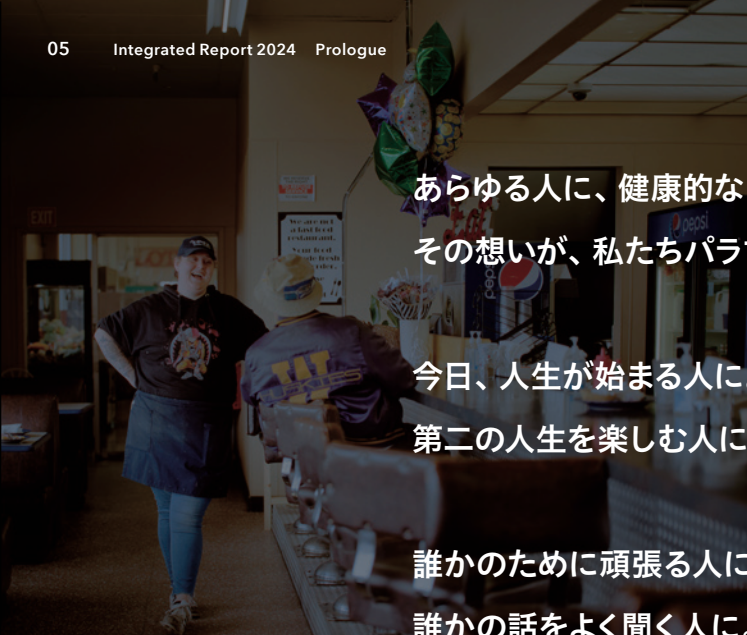
はじめに

ブランドメッセージ

当社グループはパラマウントビジョン2030「医療・介護から健康まで すべての人に笑顔を」を掲げ、従来の医療・介護用ベッドメーカーという枠組みを超えたビジネスを拡大させています。これからも、将来に向かってさらに業態が拡大・変化していくなかで、当社グループが世界中のステークホルダーに対して提供していく価値を表現したブランドメッセージ「WELL-BEING for all beings」を策定しました。



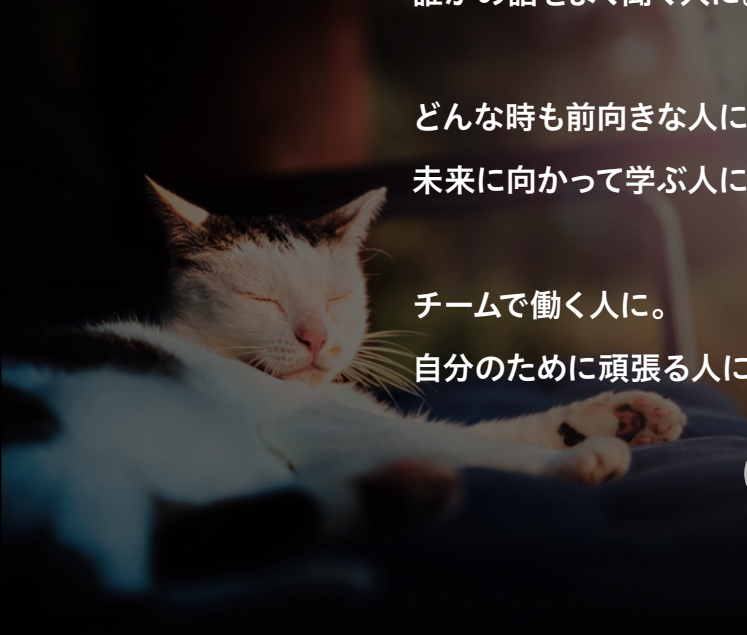
WELL-BEING for all beings



あらゆる人に、健康的な日々とよりよい人生を。
その思いが、私たちパラマウントグループの原動力。

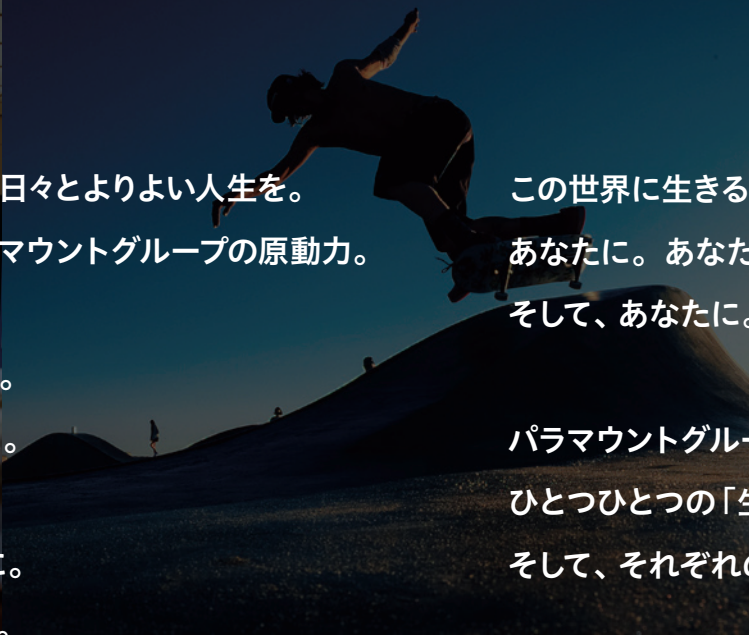
今日、人生が始まる人に。
第二の人生を楽しむ人に。

誰かのために頑張る人に。
誰かの話をよく聞く人に。



どんな時も前向きな人に。
未来に向かって学ぶ人に。

チームで働く人に。
自分のために頑張る人に。



この世界に生きる、あなたに。
あなたに。あなたに。
そして、あなたに。

パラマウントグループは、
ひとつひとつの「生きる」に寄り添う。
そして、それぞれの幸せな日々を、そっと支えていく。



医療と介護の領域で培ってきた
確かなテクノロジーとやさしさで
私たちは、今日も挑み続ける。



すべての人生に、すべての日々に、
すべての瞬間に、さあ、ウェルビーイングを。

ブランドメッセージ動画を見る

CEO MESSAGE

新たなブランドメッセージを掲げ、 私たちの願いを世界に向けて発信

代表取締役社長

木村 友彦

新ブランドメッセージ「WELL-BEING for all beings」に込めた想い

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは2024年5月に、新ブランドメッセージ「WELL-BEING for all beings」を発表しました。1947年の創業以来、祖業である医療用ベッドの製造・販売を皮切りに、現場主義を貫き、お客さまのお困りごとに寄り添い続けて社会貢献を果たしてきました。いまでは、ベッドメーカーという枠組みを超えたビジネスを展開し、医療・介護・健康の3事業を柱に、この世に生きるすべての人をターゲットにしたサービス提供を目指しています。このような会社の変化をふまえ、「私たちが社会に提供する価値」とはなにか。改めて明文化するいい時期だと考え、ブランドメッセージを刷新することになりました。

「WELL-BEING（ウェルビーイング）」という言葉は、「個人や社会のよい状態。健康と同じく日常生活の一要素であり、社会的・経済的・環境的な状況によって決定されるもの」といった意味として、世界保健機関（WHO）で紹介されています。「WELL」が「よい」、「BEING」が「状態」

を意味します。この「よい状態」とは、あいまいな定義ですが、私たちの想いが凝縮された概念であり言葉だと感じています。というのも、当社グループでは、社会に生きる人の「よい状態」は一人ひとり異なり、それぞれの幸せや喜びのかたちがあっていいと、常々思っていたからです。医療・介護従事者や治療・療養中の方々だけでなく、健康に生活を送りたいと思っている世界中の人々に向けたサービスへと拡大してきた背景には、そんな想いがありました。そして、「生きとし生けるもの」を意味する「all beings」を加えた、「WELL-BEING for all beings」という言葉を、新ブランドメッセージとして策定しました。このメッセージは、人それぞれの多様な価値観や、生活におけるさまざまな場面や瞬間に対して寄り添い続ける姿勢を表すために、「all beings」の部分が変わってもよい仕様になっています。「誰に対して、どんなWELL-BEINGを届けたいか」を、従業員一人ひとりが考えられる企業風土を醸成し、成長し続ける企業でありたいと考えています。

また、新ブランドメッセージを体現するため、私たちに



はこれまで以上の変化や進化が求められます。この数年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症という、想定していなかった外圧があり、大変な時期もありましたが、当社グループの存在意義や組織の結束力がより強まったのも事実です。未曾有の事態で、現場に不安感が漂うなかでも逃げることなく、お客さまに寄り添った結果、いまま

で以上に信頼を得ることもできました。私は、会社の底力を実感し、自信をもって「WELL-BEING for all beings」というメッセージを、世界へ発信するつもりです。ただ実際のところ、当社グループを単なる「ベッドメーカー」と認識している方も少なくありません。究極的な目標として「WELL-BEINGといえば、パラマウントベッドグループ」と認識してもらえるよう、他社連携やCVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）を積極的に活用しながら、チャレンジし続けていきたいと思います。

ブランドメッセージを浸透させるために、この考え方をわかりやすく伝える2分弱の動画をつくりました。ぜひ、皆さまにもご覧いただきたいと思います。



ブランドメッセージ動画をみる

マテリアリティをふまえ事業を通じて社会課題の解決へ

数多くの「WELL-BEING」を実現していくため、また、社会とともに持続的に成長するため、当社グループでは、以下6つをマテリアリティ（重要課題）としています。

- ①持続的な医療・介護体制整備の支援
- ②すべての人が健康でいきいきと暮らせる環境づくり
- ③製品安全の追求
- ④従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進
- ⑤環境に配慮した事業活動
- ⑥コンプライアンスの徹底

「①持続的な医療・介護体制整備の支援」では、主に医療・介護事業者の作業効率化や働き方改革を支援します。高齢化が進み、医療・介護の需要が増える一方、事業者側の人手不足や過重労働など課題が山積みです。多種多様なベッドやセンシング技術を用いた機器ほか、看護助手やコンシェルジュの常駐サービスなど、モノとコトの両方で、事業者を総合的にサポートし、社会に必要なインフラである医療・介護業界の持続的な体制整備を支援します。

「②すべての人が健康でいきいきと暮らせる環境づくり」

では、睡眠に関する長年の知見を活用し、学生や働き手、アスリートなどさまざまな人のパフォーマンス向上に貢献します。また近年では、女性の健康課題をテクノロジーで解決へと導く製品やサービスを指す「フェムテック」関連の取り組みも積極的に推進。さらに、地域の小学校や中学校に対して校外授業や体験授業を実施するほか、教育プログラムを提供し、次世代の担い手づくりに向けて、睡眠の重要性を理解してもらうことにも注力しています。

「③製品安全の追求」は、1947年の創業以降、製品を製造・販売する立場として、愚直に向き合ってきたテーマです。先人たちが築き上げてきた精神やノウハウを引き継ぎながら、さらなる品質向上に向けて体制を整備し、お客さまが安心・安全に使える製品を提供し続けます。

「④従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進」は、当社グループの企業価値を高めるうえで、重要な項目だと捉えています。従業員が健康で、多様なスキルや価値観を活かして働けることが、会社の原動力となりますし、最終的にはお客さまに届く製品やサービスの品質向上に



つながるからです。

まず健康面については、睡眠状態を計測するアプリケーションの使用をうながすほか、うつ病への理解と対応方法を学ぶことを目的とした研修を実施したり、ストレスチェックのサービスを導入したりしています。また、外部の相談窓口を整備し、産業医との連携を密にしています。このような取り組みの結果として、当社グループの主要4社が、経済産業省および日本健康会議による「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に認定されました。

ダイバーシティの推進については、管理職に占める女性の割合、男性の育児休業取得率、新卒採用における女性比率（入社人数比）の各指標に対して目標を設定しています。また、産前産後休暇、子の看護休暇、短時間勤務、キャリアチャレンジ制度、在籍社員の副業・兼業制度、定年再雇用制度、退職従業員のカムバック制度など、各種制度を取り入れています。男性の育児休業は、2022年10月より制度が始まりました。たまたまタイミングが重なって、私が取得の第一号に。これがいいきっかけとなり、社内へ浸透し、取得率が高まってきている状況です。

働き方改革の推進では、一人ひとりのライフスタイルに

沿ったワークライフマネジメントの確立を目指しています。例えば、育児・介護と仕事の両立支援のため、テレワークやエリア営業、勤務地限定、配偶者同行休職など、各種制度を複合的に活用できるよう支援しています。

「⑤環境に配慮した事業活動」は、気候変動や生物多様性に関わる大事なテーマです。生産プロセスにおける環境負荷低減のため、製品納入時に使用する運搬治具のリユースや、組立部品の通い箱の再活用、梱包材の簡素化、リサイクルしやすい原材料の利用、再生可能エネルギーへの切り替えなど、徐々に施策を拡大しています。また、ベッドメーカーで初めて、廃棄物となった自社製品を広域的に回収し、リサイクルまたは適正処理できる「産業廃棄物広域認定制度」の認証を取得しました。このような制度を活用しながら、製造責任を最後まで全うするよう努めています。

「⑥コンプライアンスの徹底」は、企業として当然のことを、これからも実行し続けるのみだと考えています。当社グループは、人のため、社会のため、長年尽力してきました。今後も持続的に成長し続けるために、正しい企業倫理をもち、公正取引の徹底や透明性の高いガバナンスを堅実に推進していきます。

CEO MESSAGE

中期経営計画の第IIフェーズへ突入。本格的に脱ベッドメーカーを目指す

2024年4月より、中期経営計画の第IIフェーズに入りました。注力ポイントは①リカーリングビジネス拡大 ②健康事業の進化 ③アジア注力エリアでの飛躍 です。この3つに向けて第Iフェーズでは、さまざまな種まきや変革を行ってきました。業績目標であった営業利益120億円を2年前倒しで達成し、さらにその後も増収増益を続けて、売上高・営業利益ともに4期連続で過去最高を更新。従業員をはじめ、株主・投資家の皆さまのご支援のおかげで、おおむね計画どおりに第IIフェーズへと移行することができました。ここに、改めて感謝申し上げます。

第IIフェーズの注力ポイント「①リカーリングビジネス拡大」は、ストック型の収益モデルを強化させ、安定的かつ持続的な成長を目指しています。「②健康事業の進化」は、当社グループのビジョン「『医療』『介護』から『健康』まですべての人に笑顔を」の達成につながる大きな目標です。「③アジア注力エリアでの飛躍」は、私たちが提供する価値をアジアで浸透させ、グローバルで活躍する企業になることを目指しています。医療・介護業界では、働き方改革

に伴う労働力不足や、エネルギーや各種資材の高騰など、さまざまな要因が現場を苦しめている状況にあります。そのようななか、お客さまに深く寄り添っている私たちだからこそわかる現場のニーズがあります。そのニーズに対し、積み上げてきたノウハウだけでなく、デジタル・センシングほか新たなテクノロジーを駆使し、当社グループにしか生み出せない製品・サービスを提供することで、差別化を推し進める計画です。そして、医療・介護の枠を超え

て世界中の人々の「WELL-BEING」を実現する企業となるため、グループ会社それぞれの強みを活かし、邁進していきたいと思います。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



パラマウントベッドグループについて

当社グループは、医療・介護・健康に関する事業を国内外で展開し、社業を通じた社会貢献と持続的な企業価値の向上を目指しています。

企業理念

先進の技術と優しさで、快適なヘルスケア環境を創造します

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

主なグループ会社



[持株会社]
パラマウントベッドホールディングス株式会社



PARAMOUNT BED

パラマウントベッド株式会社

医療・介護・健康用ベッド、マットレス、
体動センサー等の製造および販売



PARAMOUNT BED
ASIA PACIFIC

パラマウントベッド アジア パシフィック

アジア地域統括会社



PARATECHNO

パラテクノ株式会社

当社グループ製品のアフターサポート、
メンテナンスリース、常駐サービス等の提供



PARAMOUNT
CARE SERVICE

パラマウントケアサービス株式会社

さまざまな福祉用具を貸与事業者へ貸出しするレンタル卸事業

3つの事業



医療事業

医療施設向けの製品・サービスを通じて
患者のケアや病院運営をサポート



介護事業

介護施設向けや在宅介護向けの幅広い福祉用具の販売・レンタルで
利用者の療養環境整備や事業者の業務効率化に貢献



健康事業

よりよい睡眠を叶える製品・サービスで
より健康的でその人らしい暮らしをサポート

財務・非財務ハイライト



売上高

106,016 百万円

前期比 +7.1%



営業利益

13,818 百万円

前期比 +2.7%



配当金

1株当たり 65 円 総額 3,760 百万円
前期比 +10.2%



国内拠点

107 拠点 2 工場

パラマウントベッド (15拠点)
パラマウントケアサービス (79拠点)
パラテクノ (13拠点)



海外拠点

10 拠点 4 工場

東南アジアや中国、インド、中南米など



従業員数 (連結)

4,126 名

パラマウントベッドのあゆみ



1947
木村寝台製作所を創業



1966
千葉県に大規模工場を新設



1983
業界初の在宅介護用
電動ベッドを開発



2003
一般家庭向け
「INTIME」ブランド開発



2016
「スマートベッドシステム」を
開発



2023
「眠りCONNECT」提供を開始



1962
国産第一号となる
電動ベッドを開発



1968
貿易部門を新設
国際事業を開始



1987
商号の変更と株式公開



2011
持株会社体制への移行



2020
ICT搭載の在宅介護ベッド
「楽匠プラス」を開発

● 介護事業

● グローバル化

● 健康事業

● 医療事業

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

1940年代～

事業による社会貢献という
企業文化、現場主義

1960年代～

一貫生産による量産体制の構築
国内トップメーカーの地位を確立

1980年代

高齢化に対応して介護事業を拡大
製品安全と品質向上の体制確立

2000年代

事業の多角化（サービス・リカーリングの強化）
グローバル化の加速